

# 資料編

# アンケート調査の概要

## 1 目的

本調査では、区民の皆さんが環境について日ごろ感じていることや、日常生活の中での環境保全行動の取組状況、区の環境施策に対するご意見などをうかがい、これまでの環境施策の効果をはかり、今後の取組みに役立てていくことを目的としています。

また、毎年アンケート調査を実施することで、区民の皆さんの意識変化を捉え、環境基本計画の改定や事業展開などの基礎・参考資料としていきます。

## 2 調査項目

- (1) 住まい周辺の身近な環境について（問1～問6）
- (2) 環境にやさしい行動の取組み状況について（問7～問10）
- (3) 目黒区が行っている環境保全活動について（問11～問15）

## 3 対象者

目黒区内に居住する日本国籍を有する満18歳以上の区民2,000人を住民基本台帳から無作為抽出（年齢層別による無作為抽出）しました。

## 4 調査方法

無記名回答式、郵送調査法（アンケート調査票を郵送にて配付及び回収）

## 5 調査期間

平成25年6月12日（水）～平成25年7月3日（水）

## 6 回収結果

発送数	不着数 <sup>1)</sup>	回収数	有効回答数 <sup>2)</sup>	有効回答率 <sup>3)</sup>
2,000	21	630	625	31.6%

1) 宛先不明により返送された調査票を示します。

2) 回収調査票のうち、自由記述を除き、属性に関する設問に1問以上回答し、かつ自由記述及び属性を除いた設問に対して、1設問以上回答している場合を有効回答としました。

3) 有効回答数÷（発送数－不着数）×100

## 7 その他

- (1) 「n」は有効回答数を表し、グラフは「n」をもととした百分率（%）で示しています。
- (2) 百分率（%）の表示は、小数第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の設問では【複数回答】と表記しており、比率の合計が100%を超える場合があります。
- (4) 図表中の選択肢の表記について、語句等を一部簡略化している場合があります。

## アンケート調査のまとめ

### ◆ 住まい周辺の身近な環境について

- 「身近な環境を総合的に見てどのように感じているのか」（問1）という質問に対し、「良い」・「やや良い」と回答した人が65.6%でした。区民のおおよそ3人に2人が、身近な環境を「良い」と感じていることが推測できます。
- 身近な環境が「良い」又は「悪い」と感じた理由を聞いたところ、「良い」と感じるキーワードとして、緑と静かさが挙がりました。一方、「悪い」と感じるキーワードとして、騒音とポイ捨てが挙がりました。
- 身近な環境に関する5項目（「空気のきれいさ」、「まちの静けさ（騒音や振動）」、「まちの清潔さやきれいさ」、「自然やみどりの豊かさ」、「景色や街並みの美しさ」）すべてにおいて、「良い」・「やや良い」の合計した割合が「悪い」・「やや悪い」の合計した割合を上回っていました。

### ◆ 環境にやさしい行動の取組み状況について

- 環境にやさしい行動の取組み状況について聞いたところ、「資源回収」や「ごみの分別」、「こまめな消灯」、「公共交通機関の利用」などは「いつもしている」・「時々している」の合計した割合が90%以上であり、取組みとして定着していることがうかがえます。
- また「地域の環境活動に参加する」は、「本当はしたい」の割合が4割を超えていました。このため、今後は「本当はしたい」と思っている人の行動を促すような情報発信等を行っていく必要性があると考えられます。
- 昨年1年間のエネルギー使用状況を聞いたところ、電気・ガス・ガソリン（車）のすべての項目で「減っている」が「増えている」の割合を超えていることがわかりました。また使用量削減の理由から、節電への取組みが定着していることがうかがえます。

### ◆ 区が行っている環境保全活動について

- 「環境保全の取組みに参加したことがあるか」（問11ア）という質問では、参加したことがある人が6.3%と低い数値でした。
- 環境保全の取組みに参加したことがない人に参加できない理由を聞いたところ、「参加する時間がない」が最も多く、次いで「1人では参加しにくいから」という結果でした。また「その他」として、「知らなかった、情報不足」などの回答もありました。
- 「環境活動に参加するとすればどのような活動に興味があるか」（問12）という質問では、「住まい周辺の緑化活動」が最も多く、次いで「ごみの減量やリサイクル活動」でした。

# アンケート調査の結果

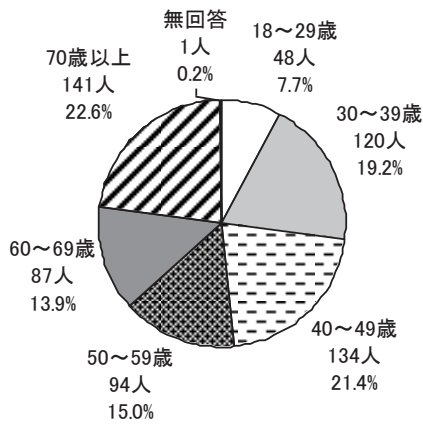
## ■ アンケート回答者の属性 (n=625)

### < 性別 >

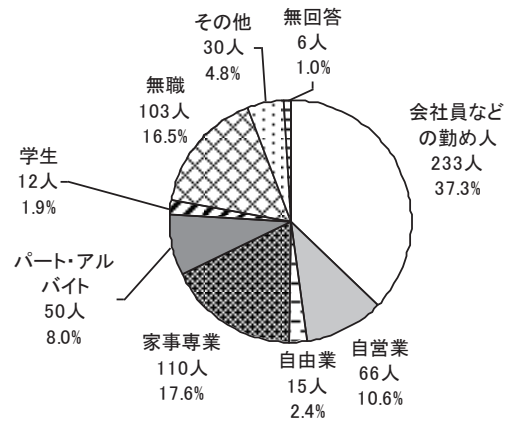
男性	女性	無回答
191人	399人	35人
30.6%	63.8%	5.6%

○無作為抽出では2,000人のうち、男性884人(44.2%)、女性1,116人(55.8%)でした。

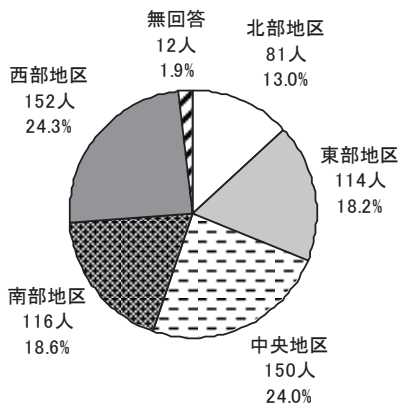
### < 年齢 >



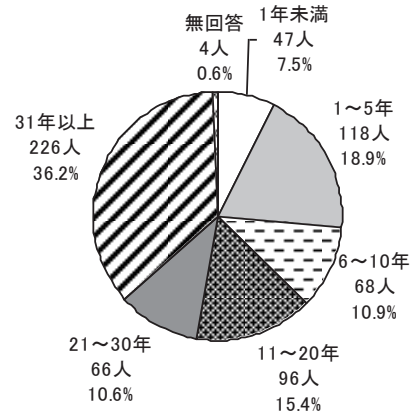
### < 職業 >



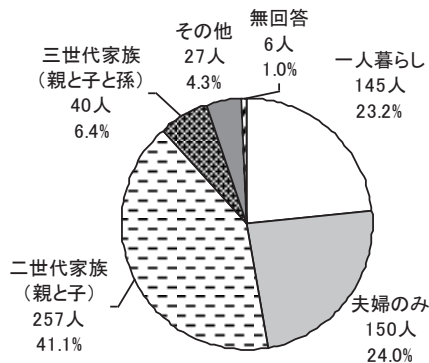
### < 居住地区 >



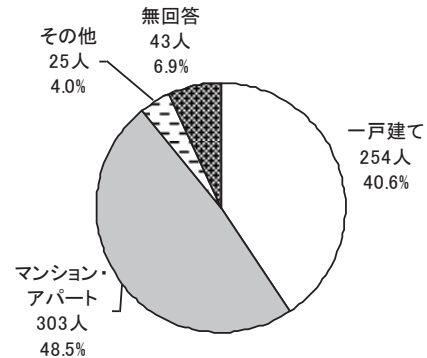
### < 居住年数 >



### < 世帯構成 >



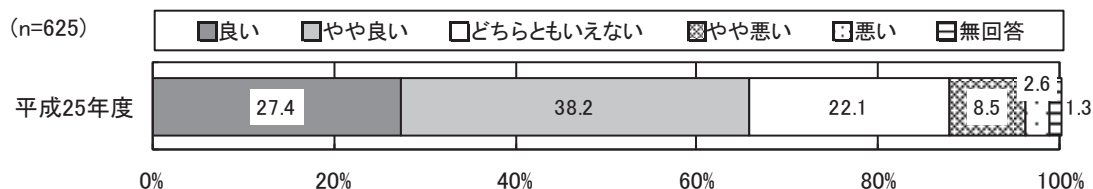
### < 住宅の種類 >



## ■ 単純集計

### 1. 現在お住まいの身近な環境について（問1～問6）

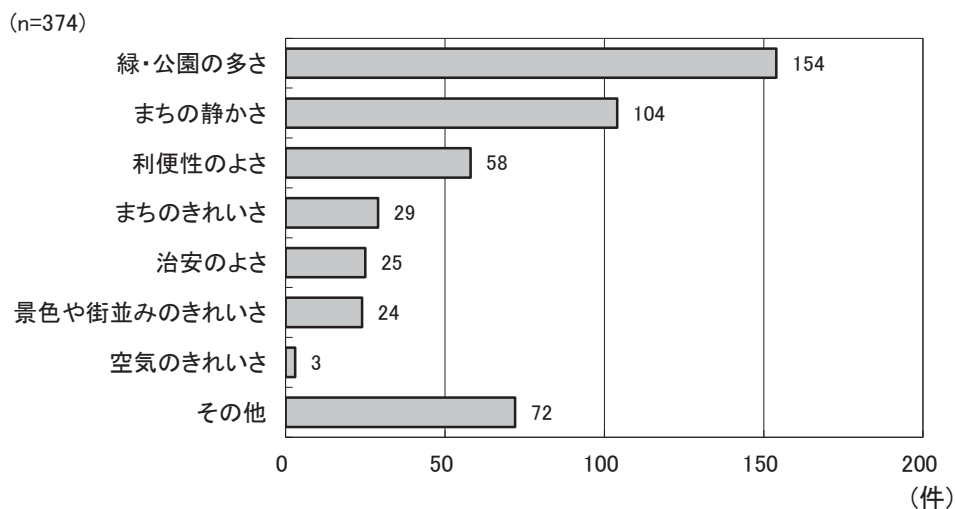
問1 身近な環境について、総合的に見てどのように感じていますか。



○ 「良い」・「やや良い」を合計した割合が65.6%であり、「悪い」・「やや悪い」を合計した割合の11.1%を大きく上回っています。このことから、身近な環境について良いと感じている人が多いことがうかがえます。

問2 問1で回答した理由をご記入ください(自由回答)。

<「良い」と思う理由 回答者数：374人、延べ回答件数：469件>



【具体的な内容（抜粋）】

#### 緑・公園の多さ

- ・ 緑が多く、大通りから一步入ると静かな住宅街である
- ・ 公園、大学等、緑の多い場所が近い
- ・ 近くに緑道があったり、個人宅でガーデニング好きの家が多く、緑が比較的多い など

#### まちの静かさ

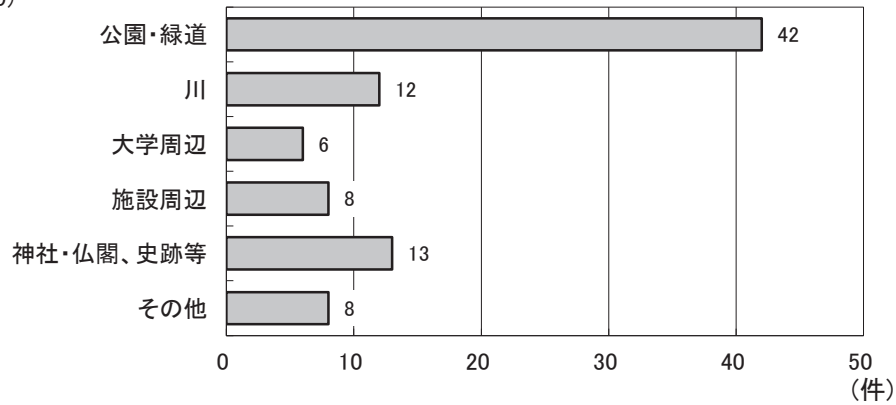
- ・ 大きな道路があるが、一步裏へ入ると静か
- ・ 駅から近いが静かである など

#### 利便性のよさ

- ・ バス便、鉄道ともに近く便利
- ・ 商店街が近いので便利 など

<「良い」と思う場所 回答者数：59人、延べ回答件数：89件>

(n=59)



【具体的な内容（抜粋）】

公園・緑道

- ・ 駒沢公園、林試の森公園、碑文谷公園、菅刈公園、中根公園 など

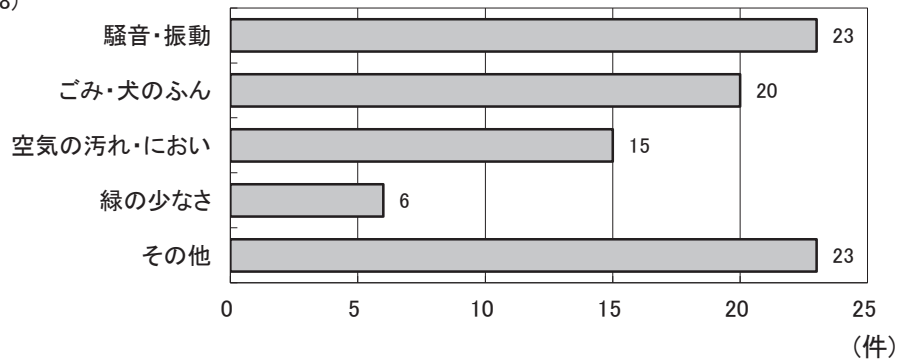
神社・仏閣、史跡等

- ・ すずめのお宿緑地公園、目黒不動尊 など

- 身近な環境を良いと感じるキーワードとして、緑と静かさが挙げられます。
- 「良い」と思う場所では、89件中54件が公園や川に関する場所であり、自然が感じられる場所が回答される傾向にありました。

<「悪い」と思う理由 回答者数：68人、延べ回答件数：87件>

(n=68)



【具体的な内容（抜粋）】

騒音・振動

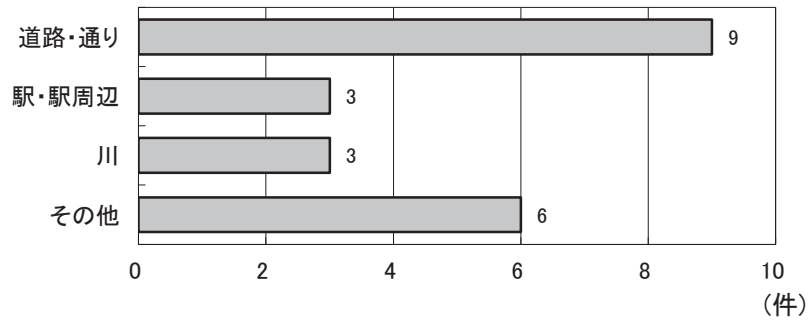
- ・ 高速道路が近くにありうるさい
- ・ 大型車両等による振動
- ・ 住宅地に引越したのに前面道路が抜け道で車両の騒音がきびしい など

ごみ・犬のふん

- ・ 歩道上にたばこの吸殻の投げ捨てが多い
- ・ 犬のふんや尿の処理が悪い など

<「悪い」と思う場所 回答者数：16人、延べ回答件数：21件>

(n=16)



【具体的な内容（抜粋）】

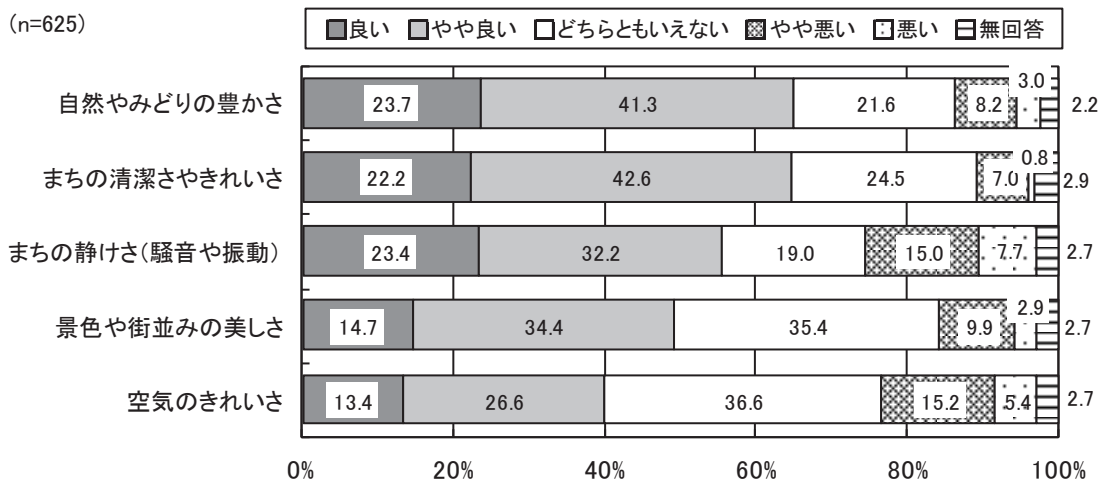
道路・通り

- ・ 国道246号（騒音、振動、大気汚染）、山手通り（騒音、排気ガス） など

- 身近な環境を悪いと感じるキーワードとして、騒音とポイ捨てが挙げられます。
- 「悪い」と思う場所では、21件中9件が幹線道路に関する場所でした。

問3 身近な環境について、どのように感じていますか。

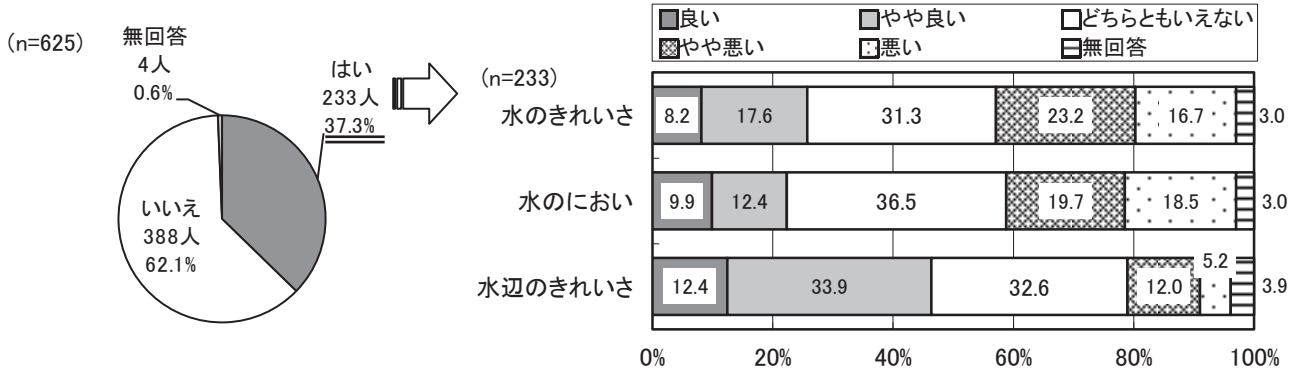
(n=625)



- すべての項目において、「良い」・「やや良い」を合計した割合が、「悪い」・「やや悪い」を合計した割合よりも高くなっています。
- 項目別に見ると、「まちの清潔さやきれいさ」、「自然やみどりの豊かさ」で、良いと答えた人の割合（「良い」・「やや良い」の合計）が高くなっています。

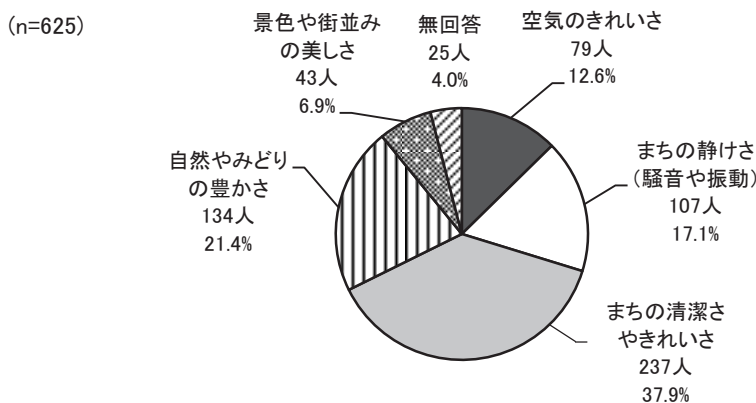
問4 (ア) お住まいの近くに川や池がありますか。  
 (イ) お住まいの近くに川や池があるかたにお聞きします。

(ア) 川や池がありますか。 (イ)川や池があるかたにお聞きします。



- 住まいの近くに川や池があると回答した人は、37.3%でした。
- 「水におい」は、「良い」・「やや良い」を合計した割合が22.3%であり、「悪い」・「やや悪い」を合計した値の38.2%より大きく下回っています。
- 「水辺のきれいさ」は、「良い」・「やや良い」を合計した割合が46.3%であり、「悪い」・「やや悪い」を合計した値の17.2%より高くなっています。

問5 身近な環境について、あなたが最も重要と思う項目はどれですか。

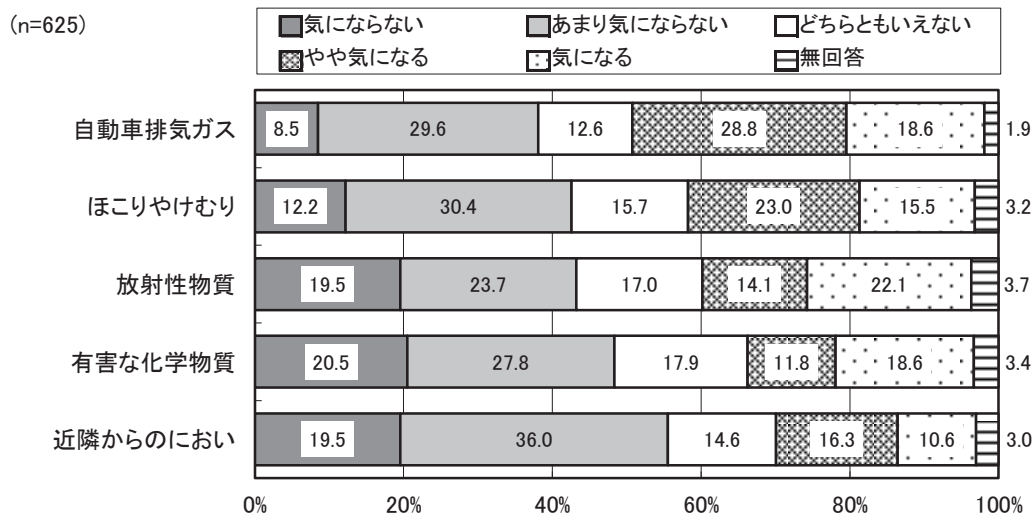


- 最も重要と思う項目としては、「まちの清潔さやきれいさ」が37.9%と最も多くなっています。次いで、「自然やみどりの豊かさ」が21.4%、「まちの静けさ(騒音や振動)」が17.1%となっています。



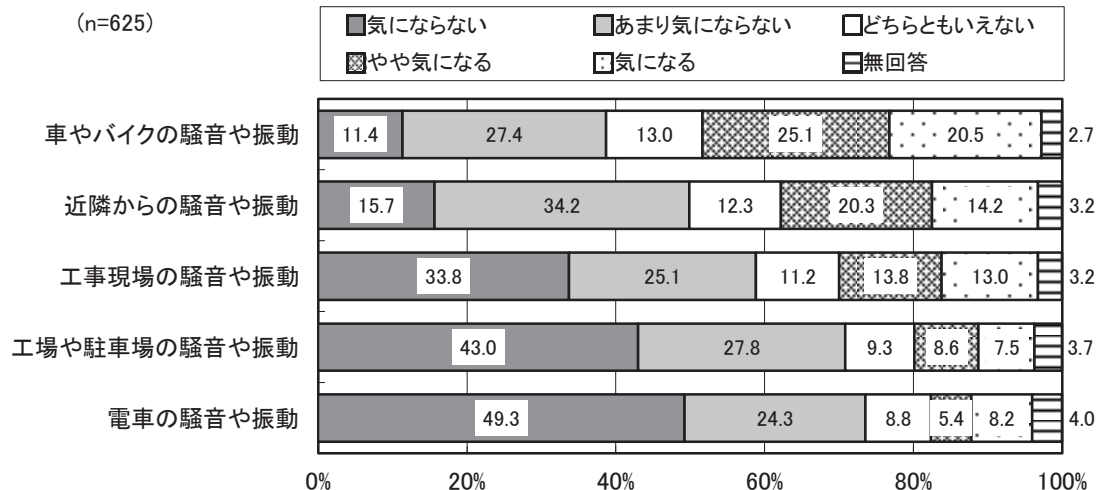
問6 身近な環境について、日頃どのように感じていますか。

(1) 空気のきれいさについて



- 空気について最も気になる項目は、「自動車排気ガス」(47.4%)となっています。
- 「自動車排気ガス」以外の4つの項目では、「気になる」・「やや気になる」の合計の割合が「気にならない」・「あまり気にならない」の合計の割合を下回っています。

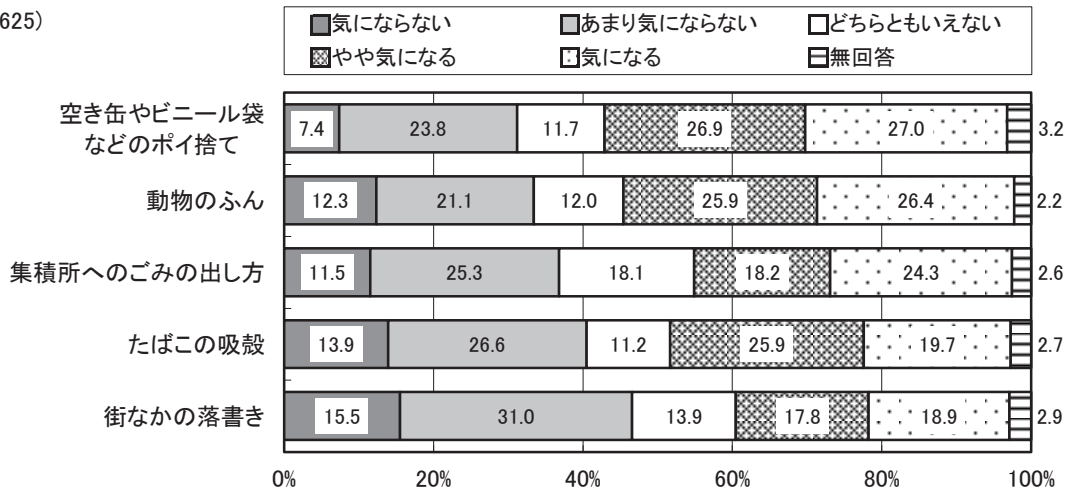
(2) まちの静けさ(騒音や振動)について



- 静けさについて最も気になる項目は、「車やバイクの騒音や振動」(45.6%)となっています。
- 「車やバイクの騒音や振動」以外の4つの項目では、「気になる」・「やや気になる」の合計の割合が「気にならない」・「あまり気にならない」の合計の割合より下回っています。

### (3) まちの清潔さやきれいさについて

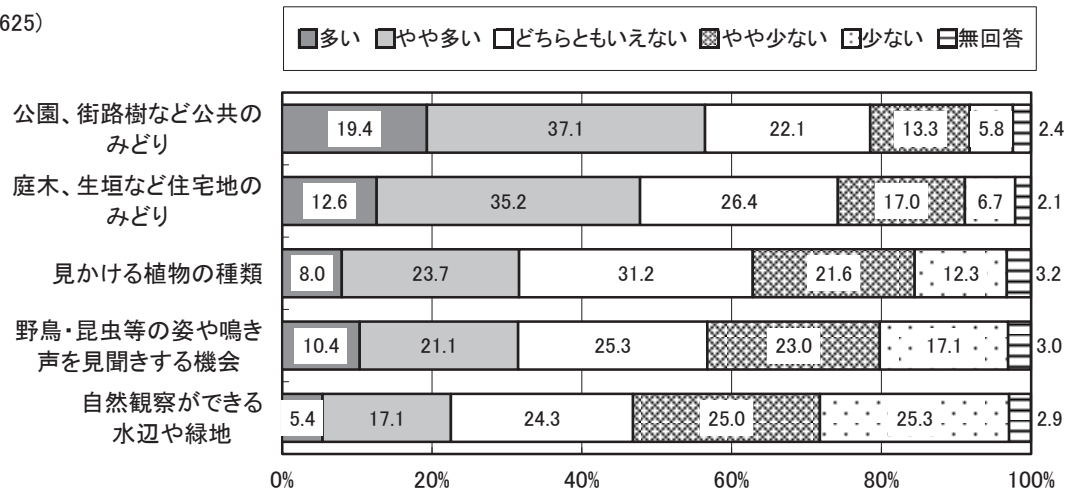
(n=625)



- 清潔さやきれいさについて最も気になる項目は、「空き缶やビニール袋などのポイ捨て」（53.9%）となっています。次いで「動物のふん」（52.3%）、「たばこの吸殻」（45.6%）となっています。
- 「街なかの落書き」以外の4つの項目では、「気になる」・「やや気になる」の合計の割合が「気に入らない」・「あまり気に入らない」の合計の割合を上回っています。

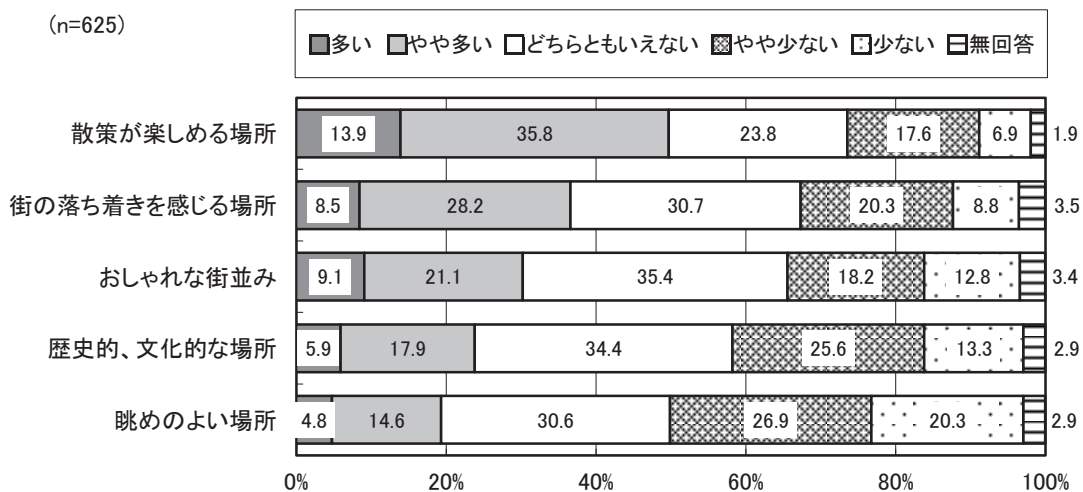
### (4) 自然やみどりの豊かさについて

(n=625)



- 自然やみどりについて、「多い」・「やや多い」の合計の割合が最も高いのは、「公園、街路樹など公共のみどり」（56.5%）で、次いで「庭木、生垣など住宅地のみどり」（47.8%）となっています。
- みどりの量は多く感じているものの、みどりとのふれあいの場や機会が少ないと感じていることがうかがえます。

(5) 景色や街並みの美しさについて



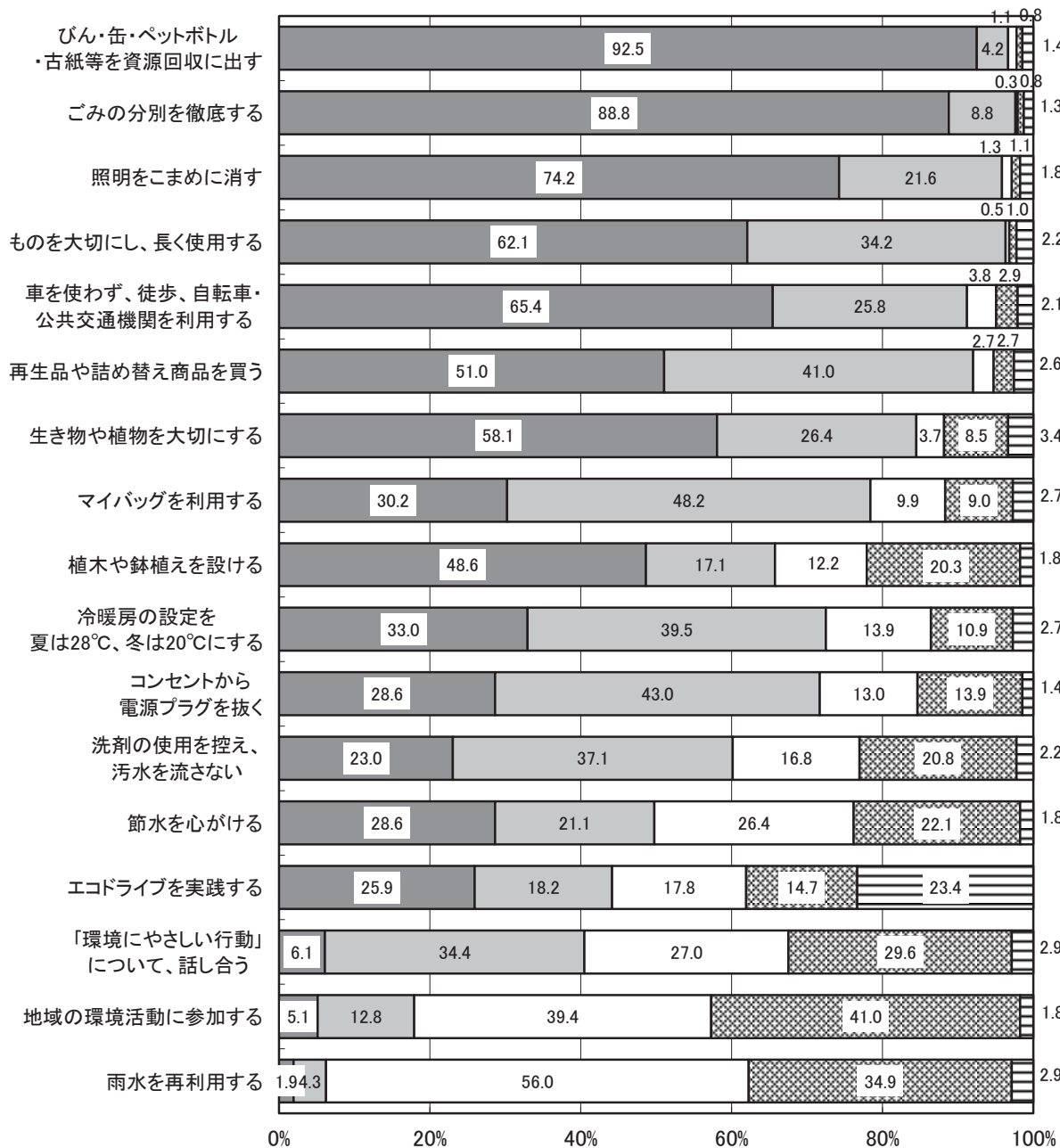
- 景色や街並みの美しさについて、「多い」・「やや多い」の合計の割合が最も高いのは、「散歩が楽しめる場所」(49.7%)であり、次いで「街の落ち着きを感じる場所」(36.7%)となっています。
- 「おしゃれな街並み」(30.2%)、「歴史的、文化的な場所」(23.8%)、「眺めのよい場所」(19.4%)は、「多い」・「やや多い」の合計の割合が「少ない」・「やや少ない」の合計の割合より下回っています。

## 2. 環境にやさしい行動の取組み状況について（問7～問10）

問7 あなたは「家庭でできる環境にやさしい行動」を、普段どの程度行っていますか。

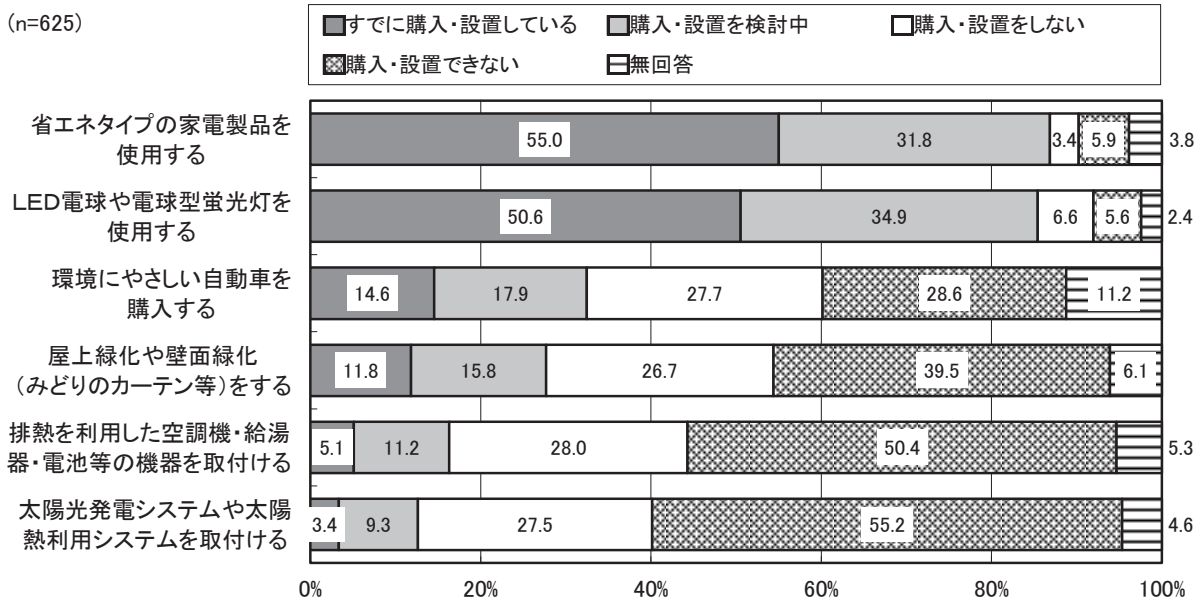
(n=625)

いつもしている
  時々している
  していない(今後もしない)
  していない(本当はしたい)
  無回答



- 資源回収やごみの分別、こまめな消灯、公共交通機関の利用等は、「いつもしている」・「時々している」の合計の割合が9割を超えており、取組みとして定着していることがうかがえます。
- 「地域の環境活動に参加する」は、「本当はしたい」の割合が4割を超えています。このため、今後は「本当はしたい」と思っている人の行動を促すような情報発信等を行っていく必要があると考えられます。
- 「エコドライブを実践する」は、無回答の割合が高くなっています。この理由として、交通の便のよい立地条件等により、車を運転しない人が多いためと考えられます。

(n=625)

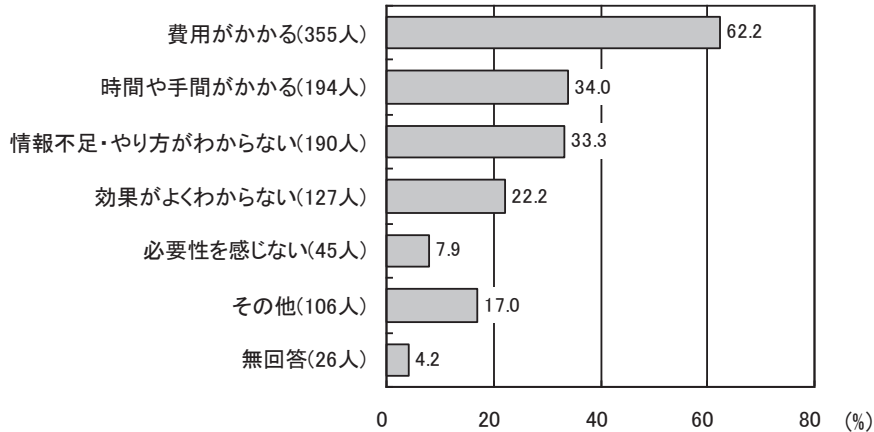


- 「すでに購入・設置している」が高い項目は、「省エネタイプの家電を使用する」(55.0%)、「LED電球や電球型蛍光灯を使用する」(50.6%)となっています。また各項目の「購入・設置を検討中」を含めると、85%を超えた値となります。
- 「すでに購入・設置している」が低い項目としては、「排熱を利用した機器を取り付ける」(5.1%)、「太陽光発電・太陽熱利用システムを取り付ける」(3.4%)となっています。両項目とも「購入・設置できない」の割合が50%を超えています。この理由としては、価格が高いことと居住形態による物理的な制約があることが考えられます。

資料編

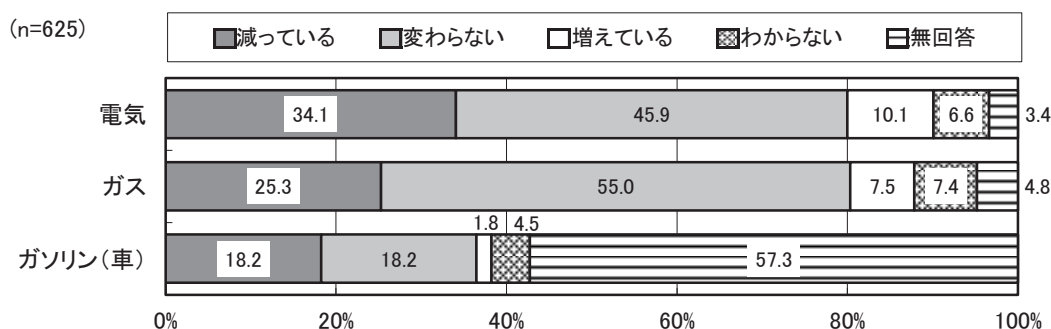
問8 あなたにとって、「家庭でできる環境にやさしい行動」に対して取り組むことが難しい理由は何ですか。【複数回答】

(n=625)



- 取り組むことが難しい理由としては、「費用がかかる」が最も高い割合(62.2%)を占めています。次いで、「時間や手間がかかる」(34.0%)、「情報不足・やり方がわからない」(33.3%)となっています。
- 「その他」は、「賃貸・マンションのため」(54件)が最も多く、「年齢・体力的に難しい」(8件)、「費用対効果がわからない」(5件)などの回答がありました。

問9（ア）あなたの世帯の電気・ガス・ガソリン（車）の昨年1年間の使用量は、その前の1年間と比べて、どのように変化していますか。



- 電気、ガス、ガソリン（車）の各使用量において、「減っている」が「増えている」の割合を超えています。
- 電気、ガス、ガソリン（車）の中でも、「減っている」の割合が最も高いのは、電気の使用量（34.1%）となっており、節電の取組みが定着していることがうかがえます。

問9（イ）変化した原因や使用量削減のための工夫などを記入してください。

<減少の理由 回答者数：248人、延べ回答件数：297件>

理由	件数	具体例
節電・節約を心がけているため	161	<ul style="list-style-type: none"> <li>空調機の使用を中止、自然の風を使用。</li> <li>外泊時にウォシュレットの電源を切る。</li> <li>暖かい日は水を張らずシャワーで済ます。</li> <li>電気はアンペアを下げた。</li> <li>お風呂は追い炊きせずに続けて入る。</li> </ul>
省エネ機器を導入したため	65	<ul style="list-style-type: none"> <li>LED電球、省エネ家電への買い替えのため。</li> <li>ハイブリッド車にした。</li> <li>太陽光発電システムやエネファームを使用しているため。</li> </ul>
交通手段を変えたため	47	<ul style="list-style-type: none"> <li>車を使わずなるべく自転車に乗るようにしているため。</li> <li>車を使用しないで公共の機関を利用しているため。</li> </ul>
生活・行動スタイルが変わったため	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>家にいる時間が減ったため。</li> </ul>
家族が減ったため	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族構成が変わったため。</li> </ul>

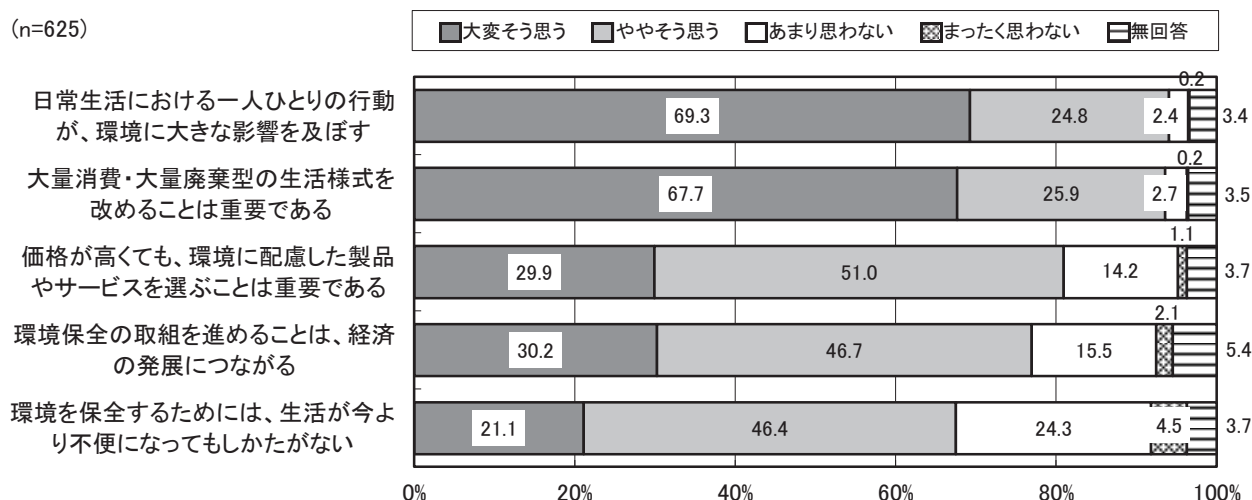
<増加の理由 回答者数：41人、延べ回答件数：41件>

理由	件数	具体例
生活・行動スタイルが変わったため	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>転居し住宅が広くなったため。</li> <li>家にいる時間が増えたため。</li> </ul>
家族が増えたため	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが増えたため。</li> </ul>
電気代が上がったため	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気代が上がったため。</li> </ul>
電化製品を増やしたり、変えたため	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>オール電化にしたため。</li> </ul>
気候が厳しいため	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年の冬の寒さの厳しさ</li> </ul>

- 節電・節約に関する理由が、延べ回答件数の54.2%を占めています。また省エネ機器の導入の理由も含めると、76.1%となります。

問10 環境と経済に関する各意見について、あなたの考えに近いものはどれですか。

(n=625)



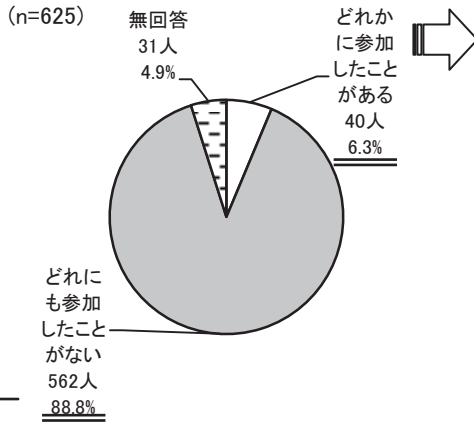
- すべての項目で「大変そう思う」・「ややそう思う」の合計値が65%以上となり、環境に対する取組みについて、肯定的な意見を持つ人が多いことがうかがえます。
- 「日常生活における一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼしている」、「大量消費・大量廃棄型の生活様式を改めることは重要である」は、「大変そう思う」・「ややそう思う」の合計値が90%以上と高い値となっています。



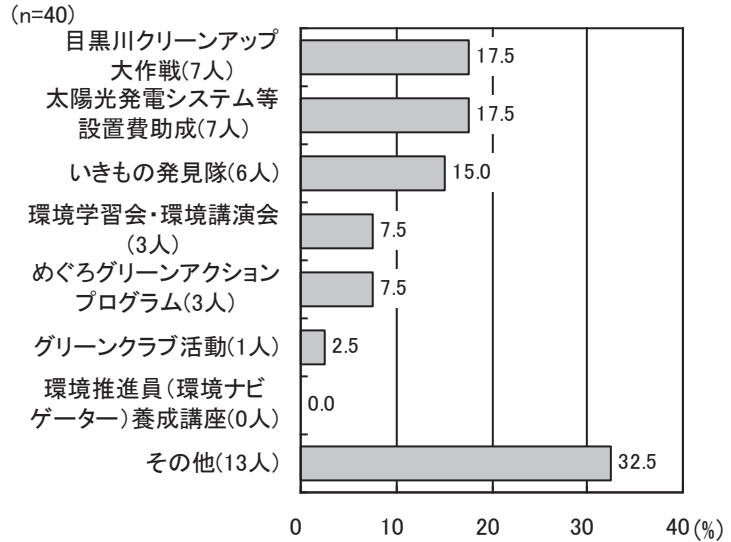
### 3. 目黒区で行っている環境保全活動について（問11～問15）

問11(ア) 区では、枠内に示すような環境保全に関する取組み・支援を行っています。これらの取組みに参加したことがありますか。

<参加の有無>

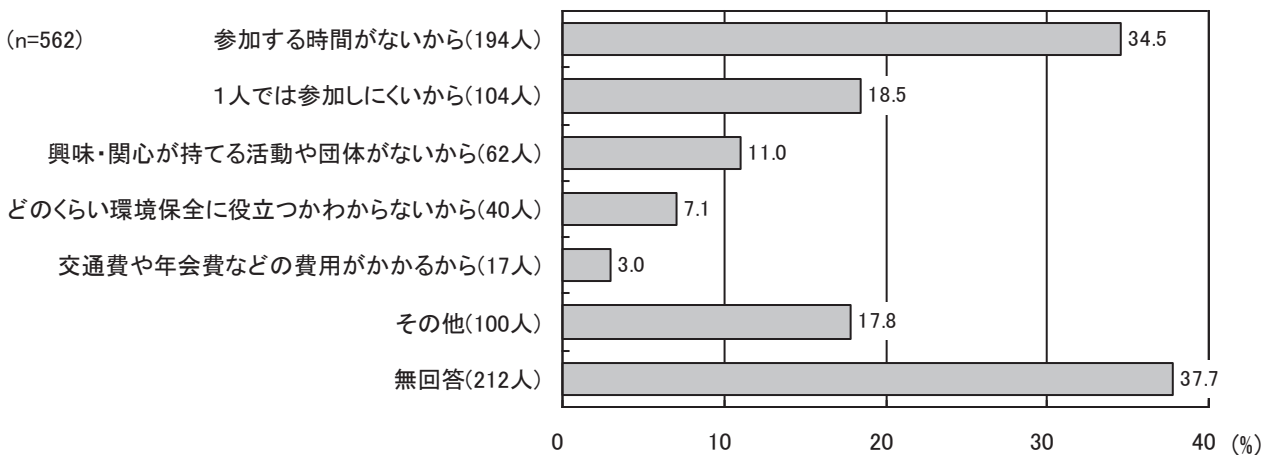


<参加したことがある取組み>



- 環境保全に関する取組みに「どれにも参加したことがない」が88.8%となっています。
- 参加したことがある取組みの中では、「目黒川クリーンアップ大作戦」(17.5%)と「太陽光発電システム等設置費助成」(17.5%)が比較的多くなっています。
- 「その他」では、「町会の公園の清掃」(4件)などの回答がありました。

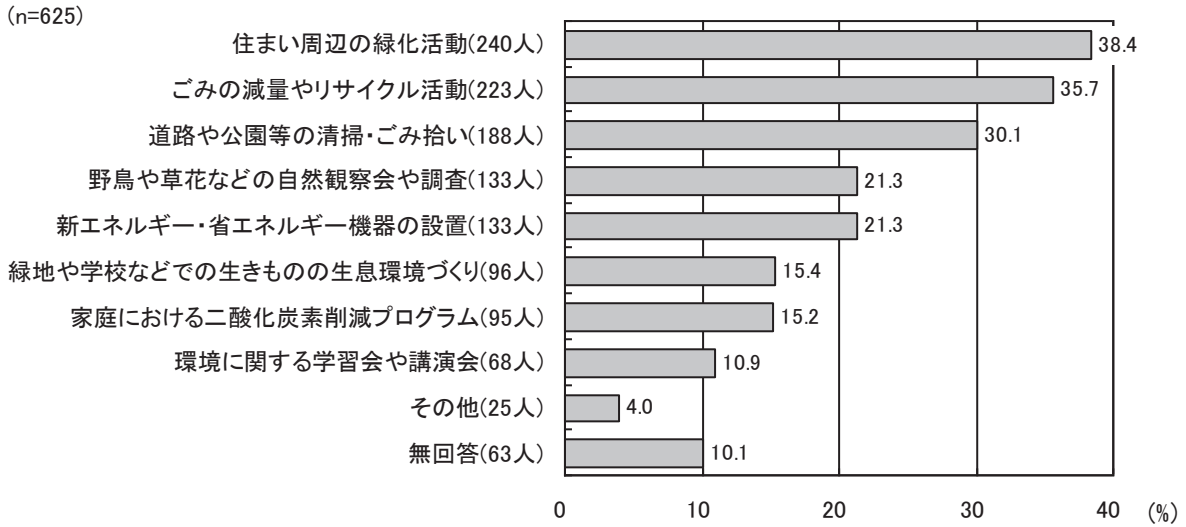
問11(イ) どれにも参加したことがない方のみにお聞きします。参加できない理由は何ですか。



- 参加していない理由としては、「参加する時間がないから」が34.5%と最も多くなっています。次いで、「1人では参加しにくいから」(18.5%)、「興味・関心が持てる活動や団体がないから」(11.0%)となっています。
- 「その他」の理由としては、「知らなかった、情報不足」(60件)、「高齢、体調不良」(14件)などの回答がありました。

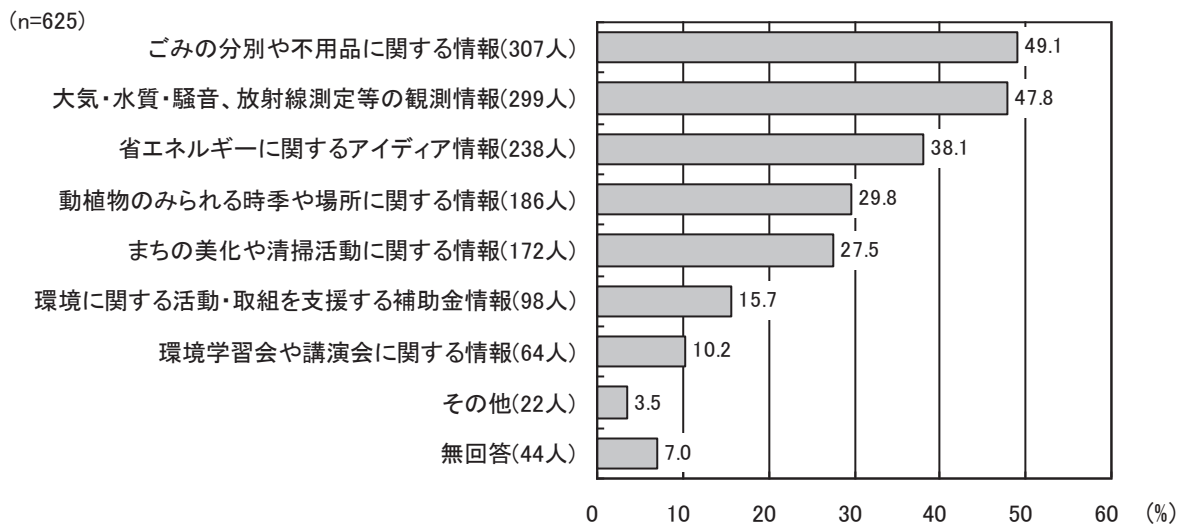


問12 今後、環境活動に参加するとすれば、どのような活動に興味がありますか。【複数回答】



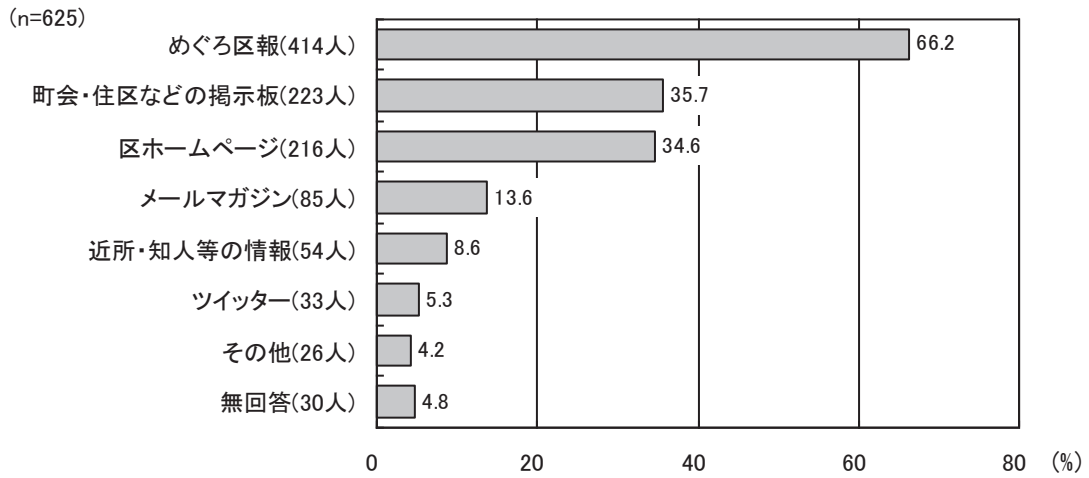
○ 興味がある活動としては、「住まい周辺の緑化活動」(38.4%)が最も多く、次いで「ごみの減量やリサイクル活動」(35.7%)、「道路や公園等の清掃・ごみ拾い」(30.1%)となっています。

問13 区から発信される環境情報のうち、どのような情報の充実を望みますか。【複数回答】



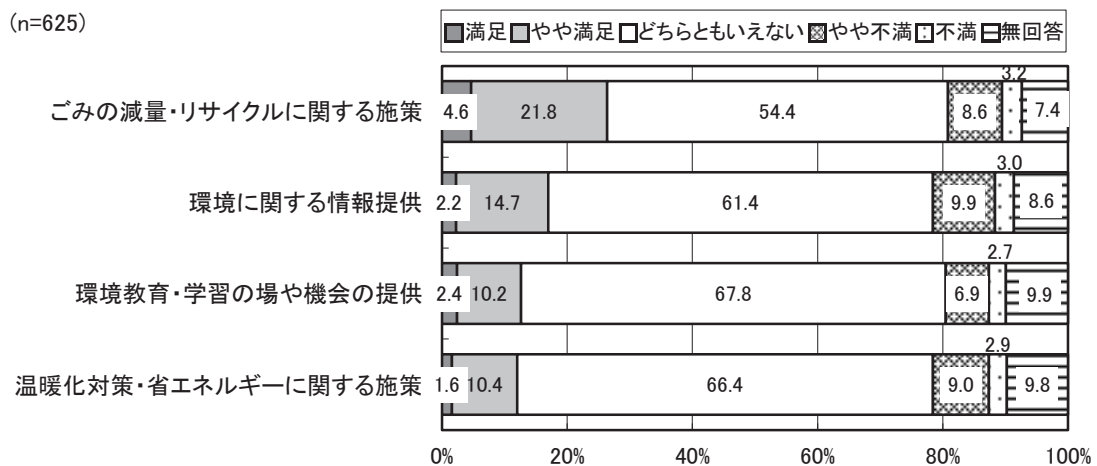
○ 「ごみの分別や不用品に関する情報」(49.1%)が最も多く、次いで「大気・水質・騒音、放射線測定等の観測情報」(47.8%)、「省エネルギーに関するアイデア情報」(38.1%)と続いています。

問14 区からの環境情報を得るために、どのような媒体が利用しやすいですか。【複数回答】



- 「めぐろ区報」が66.2%と最も多く、次いで「町会・住区などの掲示板」(35.7%)、「区ホームページ」(34.6%)となっています。
- 「その他」では、「フェイスブック」(4件)、「スーパー・病院・マンション等での掲示」(4件)などの回答がありました。

問15 目黒区の施策に関する満足度をお聞きます。



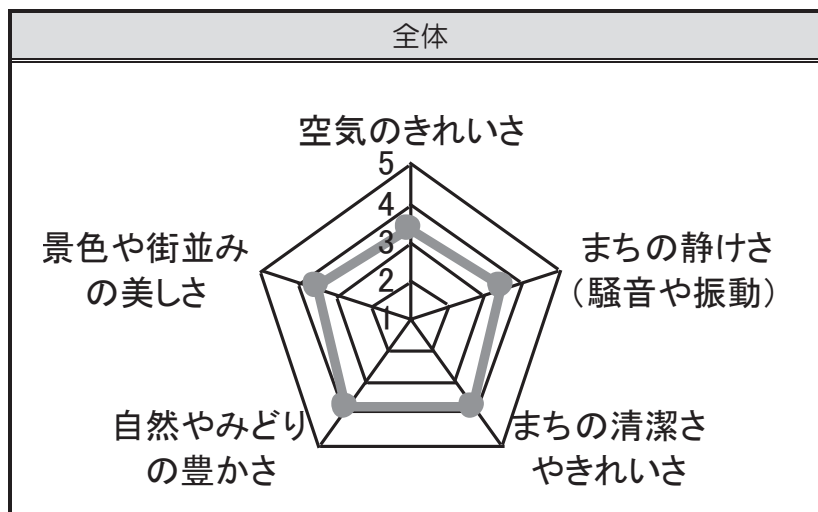
- すべての項目において、「どちらともいえない」が50%以上となっています。
- 「ごみの減量・リサイクルに関する施策」は、「満足」・「やや満足」の合計値が26.4%と、他の項目より満足度が高い結果となっています。

## ■ 身近な環境の感じ方

問3 身近な環境について、どのように感じていますか。

(全体集計)

<身近な環境を5段階で表したグラフ>



- 身近な環境にかかわる各項目についての評価点は、3.28～3.81点となりました。
- 5項目中最も評価点が高い項目は、「まちな清潔さやきれいさ」(3.81点)でした。
- 5項目中最も評価点が低い項目は、「空気のきれいさ」(3.28点)でした。

### (グラフの見方について)

- 評価点数の算出にあたっては、問3 (P.71) 又は問6 (P.73～75) の単純集計回答結果をもとにし、下表のとおり点数を割り当て集計した値をレーダーチャート形式で表示しています。
- レーダーチャートのグラフ中心は1点、最外周は5点を示しています。
- 問3のグラフから、身近な環境についての5項目に対する評価が相対的にわかります。
- 問6のグラフからは、問3で聞いた身近な環境の5項目それぞれについて、さらに詳細な項目別の評価がわかります。
- そこで、P.84～P.88では、居住地区別に詳細な項目別の評価結果を整理しました。項目別に評価点を分析することで、身近な環境の評価に影響を及ぼす要因を類推することができます。

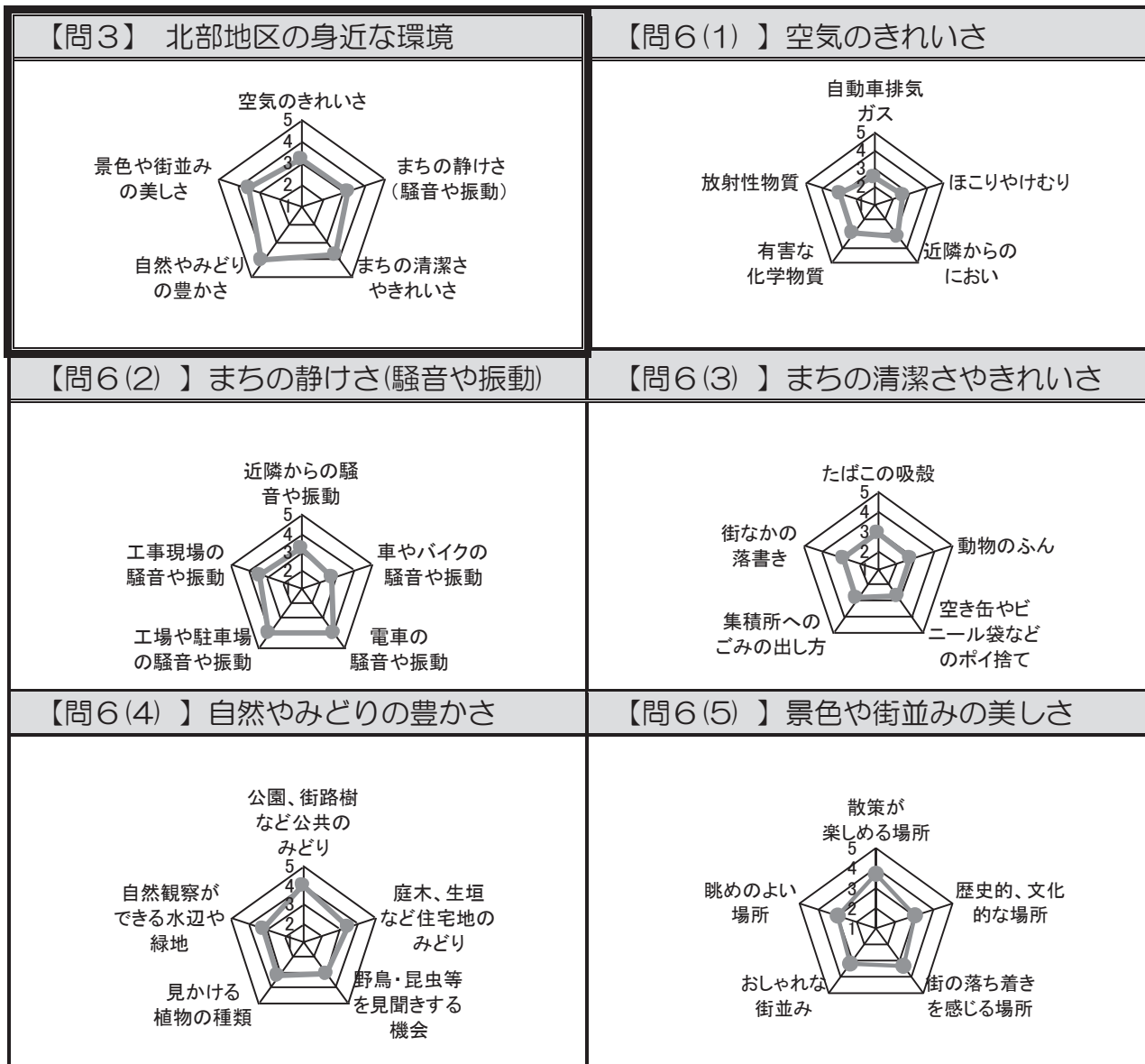
<各問における点数の割り当て>

問3	良い	やや良い	どちらともいえない	やや悪い	悪い
	5	4	3	2	1
問6 (1)～(3)	気にならない	あまり気にならない	どちらともいえない	やや気になる	気になる
	5	4	3	2	1
問6 (4)～(5)	多い	やや多い	どちらともいえない	やや少ない	少ない
	5	4	3	2	1

問3 身近な環境について、どのように感じていますか。  
 問6 身近な環境について、日頃どのように感じていますか。

《 北部地区 》

＜北部地区の身近な環境を5段階で表したグラフ＞



- 問3における身近な環境5項目の中では、「自然やみどりの豊かさ」が最も評価点が高くなっています。問6(4)の「自然やみどりの豊かさ」を項目別にみると、「公園、街路樹などの公共のみどり」が高くなっています。
- 問3における身近な環境5項目の中では、「まちの静けさ」の評価点が低くなっています。問6(2)の「まちの静けさ」を項目別に見ると、「車やバイクの騒音や振動」の評価点が最も低くなっています。

## 《 東部地区 》

＜東部地区の身近な環境を5段階で表したグラフ＞



- 問3における身近な環境5項目の中では、「まちの清潔さやきれいさ」や「自然やみどりの豊かさ」の評価点が高くなっています。
- 問6(2)の「まちの静けさ」を項目別に見ると、「車やバイクの騒音や振動」以外の項目では評価点が3点以上となっています。
- 問3における身近な環境5項目の中では、「空気のきれいさ」の評価点が低くなっています。問6(1)の「空気のきれいさ」を項目別に見ると、「自動車排気ガス」や「ほこりやけむり」の評価点が低くなっています。

## 《 中央地区 》

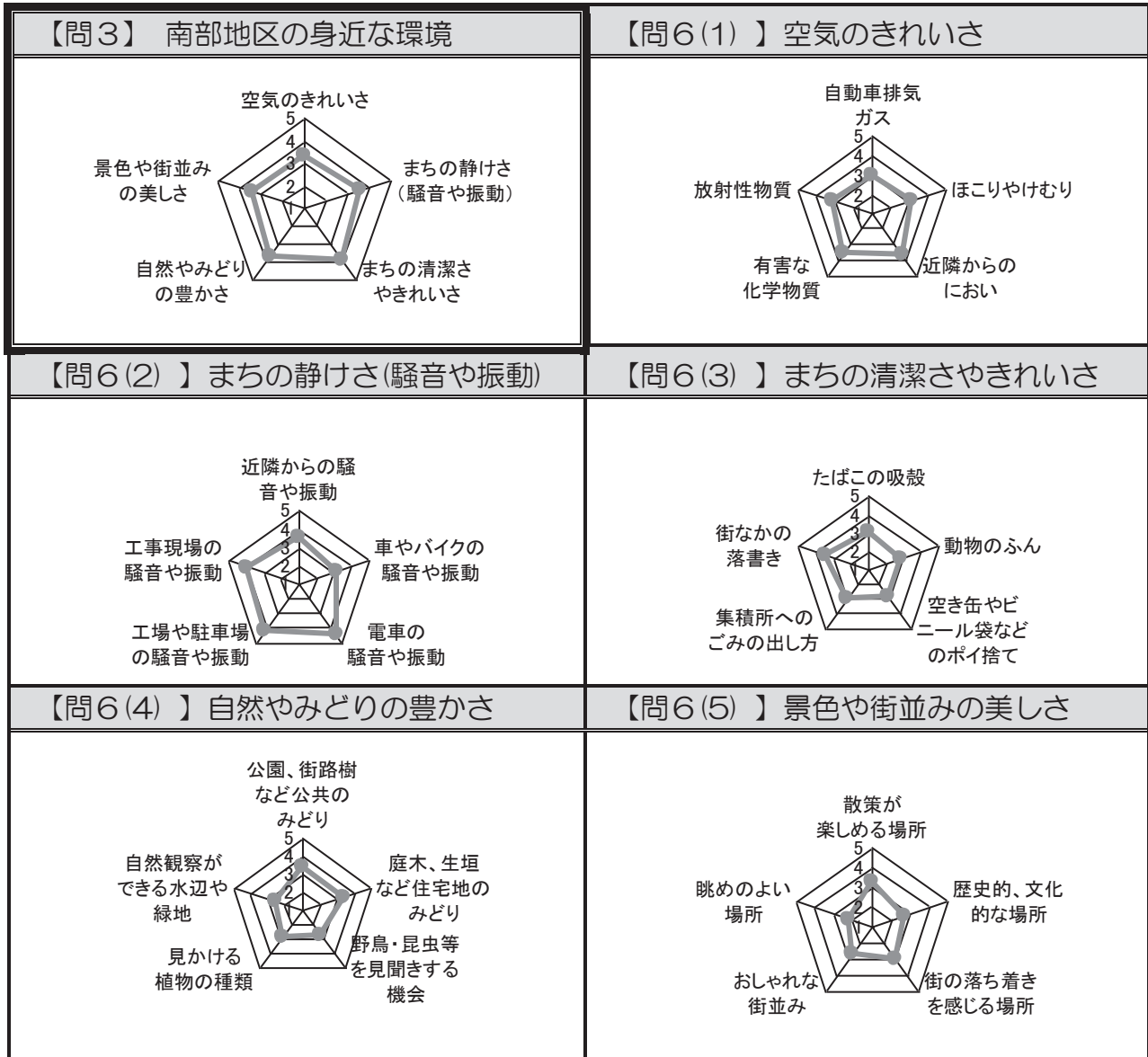
＜中央地区の身近な環境を5段階で表したグラフ＞



- 問3における身近な環境5項目の中では、「まちの清潔さやきれいさ」の評価点が最も高くなっており、それ以外の項目では同程度の評価点となっています。
- 問6(3)の「まちの清潔さやきれいさ」を項目別に見ると、各項目の評価点が3点以下と低くなっています。この問3と問6との結果の差は、抽象的なレベルと具体的なレベルで聞くことによる違いがあらわれた結果と考えられます。

《 南部地区 》

＜南部地区の身近な環境を5段階で表したグラフ＞

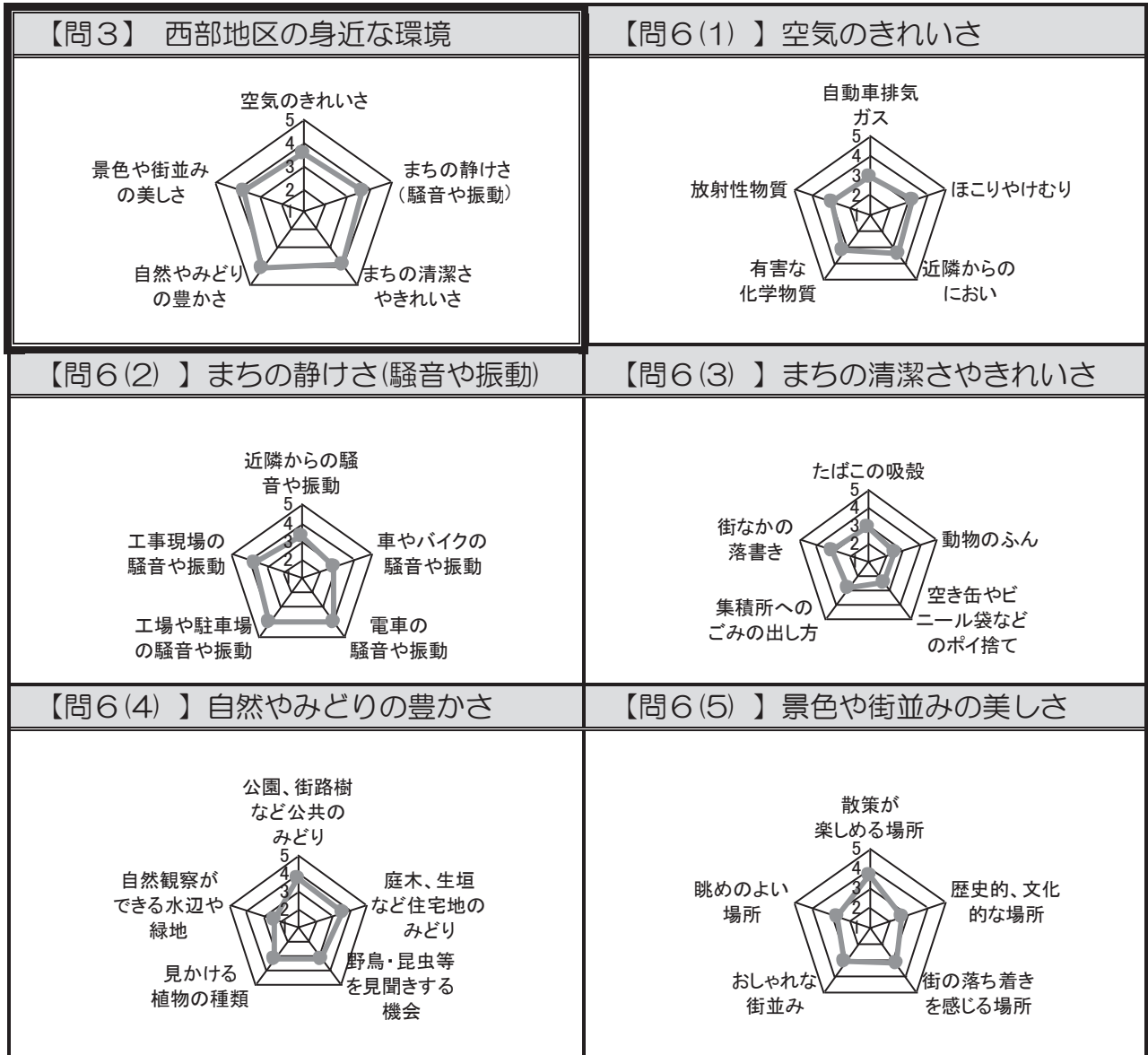


- 問3における身近な環境5項目の中では、「まちな清潔さやきれいさ」や「自然やみどりの豊かさ」の評価点が高くなっています。問6(4)の「自然やみどりの豊かさ」を項目別にみると、「公園、街路樹などの公共のみどり」、「庭木、生垣など住宅地のみどり」の評価点が高くなっていますが、それ以外の項目では、評価点が3点以下となっています。
- 問6(5)の「景色や街並みの美しさ」を項目別に見ると、「散歩が楽しめる場所」以外の項目では評価点が低くなっています。



## 《 西部地区 》

＜西部地区の身近な環境を5段階で表したグラフ＞



- 問3における身近な環境5項目では、すべての項目において評価点3.5点以上でした。その中でも、「自然やみどりの豊かさ」の評価点が最も高くなっています。問6(4)の「自然やみどりの豊かさ」を項目別にみると、「公園、街路樹などの公共のみどり」、「庭木、生垣など住宅地のみどり」の評価点が高くなっています。
- 問6(3)の「まちの清潔さやきれいさ」を項目別に見ると、「動物のふん」や「空き缶やビニール袋などのポイ捨て」の評価点が低くなっています。



## ■ 年齢別等から見た環境にやさしい行動

問7 あなたは「家庭でできる環境にやさしい行動」を、普段どの程度行っていますか。

### (年齢別集計)

＜「家庭でできる環境にやさしい行動Ⅰ」の取組み状況＞

家庭でできる環境にやさしい行動Ⅰ	18～29歳 (n=48)	30～39歳 (n=120)	40～49歳 (n=134)	50～59歳 (n=94)	60～69歳 (n=87)	70歳以上 (n=141)	問7単純集計値 (n=625)
びん・缶・ペットボトル・古紙等を資源回収に出す	89.6	100.0	97.0	96.8	98.9	95.0	96.6
ごみの分別を徹底する	93.8	97.5	98.5	97.9	100.0	96.5	97.6
照明をこまめに消す	93.8	95.8	97.8	94.7	94.3	96.5	95.8
ものを大切にし、長く使用する	95.8	97.5	97.8	97.9	98.9	91.5	96.3
車を使わず、徒歩、自転車・公共交通機関を利用する	91.7	94.2	93.3	93.6	86.2	88.7	91.2
再生品や詰め替え商品を買う	95.8	97.5	95.5	95.7	95.4	78.7	92.0
生き物や植物を大切に育てる	81.3	78.3	87.3	86.2	86.2	85.8	84.5
マイバッグを利用する	79.2	78.3	81.3	75.5	85.1	73.8	78.4
植木や鉢植えを設ける	52.1	45.0	59.0	73.4	50.5	80.1	65.8
冷暖房の設定を夏は28℃、冬は20℃にする	62.5	67.5	73.9	71.3	78.2	75.9	72.5
コンセントから電源プラグを抜く	60.4	68.3	76.9	67.0	74.7	75.2	71.7
洗剤の使用を控え、汚水を流さない	35.4	41.7	53.7	68.1	72.4	77.3	60.2
節水を心がける	39.6	40.8	54.5	52.1	47.1	56.7	49.8
エコドライブを実践する	37.5	46.7	50.7	45.7	50.6	33.3	44.2
「環境にやさしい行動」について、話し合う	20.8	32.5	38.8	42.6	52.9	46.8	40.5
地域の環境活動に参加する	2.1	7.5	19.4	16.0	25.3	27.7	17.9
雨水を再利用する	2.1	0.8	5.2	4.3	9.2	12.8	6.2

※ 表中の数値は、「いつもしている」「時々している」と回答した人の割合(%)を示す。網掛けは、問7単純集計値よりも高い回答割合を示す。

- 世代別に取組みの実施率を見ると、40代以上が問7単純集計値を上回る傾向があり、世代が高くなるほど、環境にやさしい行動に取り組んでいることがうかがえます。
- 「18歳～29歳」は、「車を使わず、徒歩、自転車・公共交通機関を利用する」、「再生品や詰め替え商品を買う」、「マイバッグを利用する」について、問7単純集計値よりも回答した人の割合が高くなっています。
- 「地域の環境活動に参加する」については、60代以上の実施率が25%を超えるとともに、40代も実施率が19.4%と高くなっています。

## (世帯別集計)

＜「家庭でできる環境にやさしい行動Ⅱ」の取組み状況＞

問7-Ⅱ	一人暮らし (n=145)	夫婦のみ (n=150)	二世世代家族 (n=257)	三世世代家族 (n=40)	その他 (n=27)	問7単純 集計値 (n=625)
省エネタイプの家電製品を使用する	76.6	89.3	91.1	87.5	88.9	86.9
LED電球や電球型蛍光灯を使用する	77.2	87.3	89.1	85.0	81.5	85.4
環境にやさしい自動車を購入する	14.5	34.7	39.7	40.0	33.3	32.5
屋上緑化や壁面緑化 (みどりのカーテン等)をする	15.9	28.7	31.9	27.5	40.7	27.7
排熱を利用した空調機・給湯器・ 電池等の機器を取付ける	9.7	18.7	17.5	25.0	14.8	16.3
太陽光発電システムや太陽熱 利用システムを取付ける	5.5	14.0	13.6	30.0	7.4	12.6

※ 表中の値は、「すでに購入・設置している」・「購入・設置を検討中」と回答した人の割合(%)を示す。網掛けは、問7単純集計値よりも高い回答割合を示す。

- 「一人暮らし」は、すべての項目について、問7単純集計値よりも回答した人の割合が低くなっています。
- 「夫婦のみ」、「二世世代家族」は、すべての項目について、問7単純集計値よりも回答した人の割合が高くなっています。

## (住居別集計)

＜「家庭でできる環境にやさしい行動Ⅱ」の取組み状況＞

問7-Ⅱ	一戸建て (n=254)	マンション・アパート (n=303)	その他 (n=25)	問7単純 集計値 (n=625)
省エネタイプの家電製品を使用する	87.8	87.1	80.0	86.9
LED電球や電球型蛍光灯を使用する	89.8	83.2	72.0	85.4
環境にやさしい自動車を購入する	41.3	25.1	48.0	32.5
屋上緑化や壁面緑化 (みどりのカーテン等)をする	35.8	21.5	20.0	27.7
排熱を利用した空調機・給湯器・ 電池等の機器を取付ける	21.3	12.9	12.0	16.3
太陽光発電システムや太陽熱利 用システムを取付ける	17.7	7.3	12.0	12.6

※ 表中の値は、「すでに購入・設置している」・「購入・設置を検討中」と回答した人の割合(%)を示す。網掛けは、問7単純集計値よりも高い回答割合を示す。

- 「一戸建て」は、すべての項目について「マンション・アパート」よりも回答した人の割合が高くなっており、ハード面の対策に取り組んでいる状況がうかがえます。

## ■ 自由記述

<回答者数：302人、延べ回答件数：341件>

環境基本計画の 基本方針	件数	意見の分類	件数
きれいな空気と 水辺のある まちで暮らす	49	大気環境の保全について	5
		水環境の保全について	23
		有害物質による汚染の防止について	2
		身近な生活環境の保全について	19
みどりあふれる まちで暮らす	45	みどりの維持・管理	18
		みどりを育てることについて	27
		都市の生物の多様性確保について	0
安らぎのある まちをつくる	95	住み心地のよいまちづくりについて	87
		街並み景観の向上・歴史的文化的資源の活用について	8
ものを大切にする 地域社会をめざす	52	ごみの発生抑制について	0
		円滑な資源循環について	5
		ごみの適正処理の推進について	47
地球にやさしい 地域社会をつくる	8	低炭素ライフスタイルの普及について	3
		事業活動の低炭素化について	4
		ヒートアイランド現象の緩和について	1
人を育てて 行動を促す	25	環境教育・学習の推進について	4
		環境情報の提供について	18
		人材や活動団体の育成について	3
		事業者の取組みの促進について	0
人のつながりを 育てる	3	地域の環境保全活動の活性化・ネットワーク化について	3
		区民・事業者・区のパートナーシップの構築について	0
		地域を越えた広域的な連携について	0
その他	64	環境に関するその他の事項について	13
		環境以外の区の施策について	8
		その他	43

## 環境に関するアンケート調査票

1. 現在お住まいの身近な環境についてお聞きします。

問1. 身近な環境について、総合的に見てどのように感じていますか。(○を1つ)

1. 良い	2. やや良い	3. どちらともいえない	4. やや悪い	5. 悪い
-------	---------	--------------	---------	-------

問2. 問1で回答した理由をご記入ください。(問1で3を回答した方は、回答不要です)

問1で、1又は2を選択した方は「良い」と思う理由や場所を、4又は5を選択した方は「悪い」と思う理由や場所をお書きください。


問3. 身近な環境について、どのように感じていますか。(それぞれ○を1つ)

項目	良い	やや良い	どちらとも いえない	やや悪い	悪い
空気のきれいさ	1	2	3	4	5
まちの静けさ(騒音や振動)	1	2	3	4	5
まちの清潔さやきれいさ	1	2	3	4	5
自然やみどりの豊かさ	1	2	3	4	5
景色や街並みの美しさ	1	2	3	4	5

問4. (ア) お住まいの近くに川や池がありますか？(○を1つ)

1. はい (問(イ)へ)	2. いいえ (問5へすすんでください。)
---------------	-----------------------

(イ) お住まいの近くに川や池があるかたにお聞きします。(それぞれ○を1つ)

項目	良い	やや良い	どちらとも いえない	やや悪い	悪い
水のきれいさ	1	2	3	4	5
水のおい	1	2	3	4	5
水辺(周辺を含む)のきれいさ	1	2	3	4	5

問5. 身近な環境について、あなたが最も重要と思う項目はどれですか。(○を1つ)

1. 空気のきれいさ	2. まちの静けさ(騒音や振動)	3. まちの清潔さやきれいさ
4. 自然やみどりの豊かさ	5. 景色や街並みの美しさ	

問6. 身近な環境について、日頃どのように感じていますか。(それぞれ0を1つ)

(1) 空気のきれいさについて

項目	気にならない	あまり 気にならない	どちらとも いえない	やや 気になる	気になる
自動車排気ガス	1	2	3	4	5
ほこりやけむり	1	2	3	4	5
近隣からのにおい	1	2	3	4	5
有害な化学物質	1	2	3	4	5
放射性物質	1	2	3	4	5

(2) まちの静けさ(騒音や振動)について

項目	気にならない	あまり 気にならない	どちらとも いえない	やや 気になる	気になる
近隣からの騒音や振動	1	2	3	4	5
車やバイクの騒音や振動	1	2	3	4	5
電車の騒音や振動	1	2	3	4	5
工場や駐車場の騒音や振動	1	2	3	4	5
工事現場の騒音や振動	1	2	3	4	5

(3) まちの清潔さやきれいさについて

項目	気にならない	あまり 気にならない	どちらとも いえない	やや 気になる	気になる
たばこの吸殻	1	2	3	4	5
動物のふん	1	2	3	4	5
空き缶やビニール袋などのポイ捨て	1	2	3	4	5
集積所へのごみの出し方	1	2	3	4	5
街なかの落書き	1	2	3	4	5

(4) 自然やみどりの豊かさについて

項目	多い	やや多い	どちらとも いえない	やや少ない	少ない
公園、街路樹など公共のみどり	1	2	3	4	5
庭木、生垣など住宅地のみどり	1	2	3	4	5
野鳥・昆虫等の姿や鳴き声を見聞きする機会	1	2	3	4	5
見かける植物の種類	1	2	3	4	5
自然観察ができる水辺や緑地	1	2	3	4	5

(5) 景色や街並みの美しさについて

項目	多い	やや多い	どちらとも いえない	やや少ない	少ない
散策が楽しめる場所	1	2	3	4	5
歴史的、文化的な場所	1	2	3	4	5
街の落ち着きを感じる場所	1	2	3	4	5
おしゃれな街並み	1	2	3	4	5
眺めのよい場所	1	2	3	4	5

2. 環境にやさしい行動の取組み状況についてお聞きします。

問7. あなたは「家庭でできる環境にやさしい行動」を、普段どの程度行っていますか。  
(それぞれ〇を1つ)

家庭でできる環境にやさしい行動Ⅰ		いつも している	時々 している	していない (今後も しない)	していない (本当は したい)
1	マイバッグを利用する	1	2	3	4
2	再生品や詰め替え商品を購入する	1	2	3	4
3	ものを大切にし、できるだけ長く使用する	1	2	3	4
4	ごみの分別を徹底する	1	2	3	4
5	びん・缶・ペットボトル・古紙等を資源回収に出す	1	2	3	4
6	洗剤の使用を控え、汚水を流さないようにする	1	2	3	4
7	洗濯に風呂の残り湯を使用するなど節水を心がける	1	2	3	4
8	雨水を貯めて再利用する	1	2	3	4
9	使用していない場所の照明はこまめに消す	1	2	3	4
10	使用していない時は、コンセントから電源プラグを抜く	1	2	3	4
11	冷暖房の設定を夏は室温28℃以上、冬は室温20℃以下にする	1	2	3	4
12	アイドリングストップを行うなどエコドライブを実践する	1	2	3	4
13	車を使わず、徒歩、自転車・公共交通機関を利用する	1	2	3	4
14	庭やベランダ等に植木や鉢植えを設ける	1	2	3	4
15	身近に生息している生きものや植物を大切にする	1	2	3	4
16	地域の環境活動(町会・サークル等)に参加する	1	2	3	4
17	「家庭でできる環境にやさしい行動」について、話し合う	1	2	3	4

家庭でできる環境にやさしい行動Ⅱ		すでに 購入・設置 している	購入・設置 を検討中	購入・設置 をしない	購入・設置 できない
18	LED電球や電球型蛍光灯を使用する	1	2	3	4
19	省エネタイプの家電製品を使用する	1	2	3	4
20	環境にやさしい自動車(低燃費車・ハイブリッド車・電気自動車)を購入する	1	2	3	4
21	屋上緑化や壁面緑化(みどりのカーテン等)をする	1	2	3	4
22	太陽光発電システムや太陽熱利用システムを取付ける	1	2	3	4
23	排熱を利用した空調機・給湯器・電池等の機器(ガス、電気)を取付ける	1	2	3	4

問8. あなたにとって、「家庭でできる環境にやさしい行動」に対して取り組むことが難しい理由は何ですか。(いくつでも〇)

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 1. 時間や手間がかかる | 2. 情報不足・やり方がわからない |
| 3. 費用がかかる    | 4. 効果がよくわからない     |
| 5. 必要性を感じない  | 6. その他( )         |

問9. (ア) あなたの世帯の電気・ガス・ガソリン(車)の昨年1年間の使用量は、その前の1年間と比べて、どのように変化していますか。(それぞれ○を1つ)

	減っている	変わらない	増えている	わからない
電 気	1	2	3	4
ガ ス	1	2	3	4
ガソリン(車) ※車をお持ちの方のみ	1	2	3	4

(イ) 変化した原因や使用量削減のための工夫などを記入してください。


問10. 環境と経済に関する各意見について、あなたの考えに近いものはどれですか。(それぞれ○を1つ)

意 見	大変 そう思う	やや そう思う	あまり 思わない	まったく 思わない
1. 環境保全の取組を進めることは、経済の発展につながる	1	2	3	4
2. 日常生活における一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼす	1	2	3	4
3. 大量消費・大量廃棄型の生活様式を改めることは重要である	1	2	3	4
4. 価格が高くて、環境に配慮した製品やサービスを選ぶことは重要である	1	2	3	4
5. 環境を保全するためには、生活が今より不便になってもしかたがない	1	2	3	4

### 3. 目黒区で行っている環境保全活動についてお聞きします。

問11 (ア) 区では、枠内に示すような環境保全に関する取組み・支援を行っています。これらの取組みに参加したことがありますか。

{ 参加したことがある方：参加した取組み(1~8)に○(いくつでも○) → 問11 (イ) ^  
 { 参加したことがない方：9に○ → 問12 ^

1. めぐるグリーンアクションプログラム	2. 太陽光発電システム等設置費助成
3. 環境推進員(環境ナビゲーター)養成講座	4. 環境学習会・環境講演会
5. いきもの発見隊	6. グリーンクラブ活動
7. 目黒川クリーンアップ大作戦	8. その他( )
9. どれにも参加したことがない	



(イ) どれにも参加したことがない方のみにお聞きします。(問11(ア)で9と回答された方)  
参加できない理由は何ですか。(いくつでも○)

- |                          |                 |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 興味・関心が持てる活動や団体がないから   | 2. 参加する時間がないから  |
| 3. 交通費や年会費などの費用がかかるから    | 4. 1人では参加しにくいから |
| 5. どのくらい環境保全に役立つかわからないから | 6. その他( )       |

問12. 今後、環境活動に参加するとすれば、どのような活動に興味がありますか。(いくつでも○)

- |                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 家庭における二酸化炭素削減プログラム    | 2. 新エネルギー・省エネルギー機器の設置 |
| 3. 環境に関する学習会や講演会         | 4. 野鳥や草花などの自然観察会や調査   |
| 5. 緑地や学校などでの生きものの生息環境づくり | 6. 住まい周辺の緑化活動         |
| 7. ごみの減量やリサイクル活動         | 8. 道路や公園等の清掃・ごみ拾い     |
| 9. その他( )                |                       |

問13. 区から発信される環境情報のうち、どのような情報の充実を望みますか。(いくつでも○)

- |                          |                     |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 大気・水質・騒音、放射線測定等の観測情報  | 2. 環境学習会や講演会に関する情報  |
| 3. 動植物のみられる時季や場所に関する情報   | 4. ごみの分別や不用品に関する情報  |
| 5. まちの美化や清掃活動に関する情報      | 6. 省エネルギーに関するアイデア情報 |
| 7. 環境に関する活動・取組を支援する補助金情報 |                     |
| 8. その他( )                |                     |

問14. 区からの環境情報を得るために、どのような媒体が利用しやすいですか。(いくつでも○)

- |            |                |              |
|------------|----------------|--------------|
| 1. 区ホームページ | 2. メールマガジン     | 3. ツイッター     |
| 4. めぐる区報   | 5. 町会・住区などの掲示板 | 6. 近所・知人等の情報 |
| 7. その他( )  |                |              |

問15. 目黒区の施策に関する満足度をお聞きします。(それぞれ○を1つ)

項目	満足	やや満足	どちらとも いけない	やや不満	不満
1. 環境に関する情報提供	1	2	3	4	5
2. 環境教育・学習の場や機会の提供	1	2	3	4	5
3. 温暖化対策・省エネルギーに関する施策	1	2	3	4	5
4. ごみの減量・リサイクルに関する施策	1	2	3	4	5



4. 最後にあなたご自身のことについてお聞きします。(それぞれ〇を1つ)

	回答欄		
性別	1. 男性	2. 女性	
年齢（満年齢）	1. 18～29歳 4. 50～59歳	2. 30～39歳 5. 60～69歳	3. 40～49歳 6. 70歳以上
職業	1. 会社員などの勤め人 4. 家事専業 7. 無職	2. 自営業 5. パート・アルバイト 8. その他	3. 自由業 6. 学生
世帯の構成	1. 一人暮らし 4. 三世帯家族（親と子と孫）	2. 夫婦のみ 5. その他	3. 二世帯家族（親と子）
居住地区	1. 北部地区（駒場住区、菅刈住区、東山住区、烏森住区） 2. 東部地区（中目黒住区、田道住区、下目黒住区、不動住区） 3. 中央地区（上目黒住区、油面住区、五本木住区、鷹番住区） 4. 南部地区（月光原住区、向原住区、碑住区、原町住区、大岡山東住区） 5. 西部地区（大岡山西住区、中根住区、自由が丘住区、八雲住区、東根住区）		
目黒区居住年数	1. 1年未満 4. 11～20年	2. 1～5年 5. 21～30年	3. 6～10年 6. 31年以上
住宅の種類	1. 一戸建て	2. マンション・アパート	3. その他

5. 身近な環境に対して日頃感じていることや目黒区の環境行政について、ご意見やご提案がございましたらご記入ください。


アンケート調査は、これで終わりです。ご協力ありがとうございました。  
 記入もれがないかももう一度お確かめの上、7月3日（水）までに同封の  
 返信用封筒（切手不要）に入れ、お近くの郵便ポストへ入れてください。

## 環境行政をめぐる動き

環境をとりまく状況は、めまぐるしく変化しています。世界や国、東京都の動向にあわせ、区では右頁の表に示すような取組みを進めてきました。特に近年では、以下のような環境問題の重要性が高まっています。

### ①地球温暖化問題の顕在化、京都議定書の第2約束期間のスタート

地球温暖化問題を世界的に取り組むために、平成9年に開催された気候変動枠組条約第3回締約国会議（COP3）により合意された京都議定書の第1約束期間（平成20～24年）が終了しました。第1約束期間では、温室効果ガスを先進国全体で平成2年比5%削減することを目標としており、日本は6%削減の目標が定められていました。

平成24年に開催された第18回締約国会議（COP18）では、先進国全体の排出量を第2約束期間（平成25年～32年）までに少なくとも18%削減することが合意されました。日本は第2約束期間に不参加を表明したため、自主的に約束・宣誓した目標や行動に取り組むこととなります。

＜地球温暖化のしくみ＞  
出典：全国地球温暖化防止活動推進センター  
ホームページより (<http://www.jccca.org/>)

目黒区においても、平成17年に策定した「目黒区地球温暖化対策地域推進計画」や計画の実行計画である「めぐろエコ・プラン」に基づいた取組みを進めています。

### ②循環型社会へ向けた法制度の整備

廃棄物・リサイクル対策は、廃棄物処理法の改正、各種リサイクル法の制定等により拡充・整備が図られてきました。平成13年に施行された「循環型社会形成推進基本法」では、3Rの推進により、環境への負荷が少ない「循環型社会」を形成することが目指されました。

目黒区においても、レジ袋削減などを目指した「めぐろ買い物ルール」を策定するなど、ごみの減量、リサイクルに取り組んでいます。

### ③生物多様性の保全と自然再生

私たちの生活に様々な恩恵をもたらす生物多様性は、急速に失われつつあります。平成22年に名古屋市で生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が開催されたことをきっかけに、国内での議論も盛り上がりを見せています。

目黒区でも、ただ多くのみどりを保全するだけでなく、生物多様性をはぐくむ質の高いみどりの育成に努めています。

＜COP10 ロゴマーク＞  
出典：環境省報道発表資料より  
(<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=11920>)

＜環境行政をめぐる区の動きおよび世界・日本・東京都の動き＞

年度	区の動き	★：世界の動き ●：国の動き ○：東京都の動き
平成 13 年度 (2001 年度)	ISO14001 認証取得	●「自動車 NOx・PM 法」制定 ●「PCB 特別措置法」制定 ○「東京都環境基本計画」改定
平成 14 年度 (2002 年度)	「目黒区環境基本計画」策定  「目黒区ポイ捨てなどのないまちをみんなでつくる条例 (略称：「ポイ捨て防止条例）」制定	★持続可能な開発に関する世界首脳会議（リオ+10） ●「土壌汚染対策法」制定 ●「新エネルギー発電法」制定 ★「京都議定書」批准 ●「循環型社会形成推進基本計画」閣議決定 ●「地球温暖化対策推進大綱」策定 ○「東京都環境影響評価条例」改正 ○「ヒートアイランド対策取組方針」策定 ○「都市と地球の温暖化阻止に関する基本方針」策定
平成 15 年度 (2003 年度)	—	●「廃棄物処理施設整備計画」閣議決定 ●「ヒートアイランド対策大綱」策定
平成 16 年度 (2004 年度)	ISO14001 サイト拡大・環境方針の改定	●「外来生物法」制定 ●「環境保全活動・環境教育推進法に関する基本方針」 閣議決定 ★「京都議定書」発効 ○「平成 16 年度東京都環境物品等調達方針」（公共 工事）策定
平成 17 年度 (2005 年度)	「新エコ・アクションプログラムめぐろⅡ」策定 (環境保全率先実行計画・地球温暖化対策推進地方公 共団体実行計画) 「目黒区環境学習推進計画」策定 「住宅マスタープラン」改定 「目黒区放置自転車対策基本計画」策定	○「東京都環境確保条例」改定 (エネルギー環境計画書、省エネラベリング制度の 創設) ○「みどりの新戦略ガイドプラン」策定
平成 18 年度 (2006 年度)	「目黒区みどりの基本計画」改定 「目黒区一般廃棄物処理基本計画」改定 「目黒区地域街づくり条例」制定	●「容器包装リサイクル法」改正 ●「新バリアフリー法」制定 ○「持続可能な東京の実現をめざす新戦略プログラ ム」策定 ○「東京都再生可能エネルギー戦略」策定
平成 19 年度 (2007 年度)	ISO14001 サイト拡大 「目黒区環境基本計画」改定 「目黒区地球温暖化対策地域推進計画」策定 住環境プロジェクト*	●「外来生物法」改正 ●「種の保存法」改正 ●「自動車 NOx・PM 法」改正 ○「東京都気候変動対策方針」策定 ○「緑の東京 10 年プロジェクト 基本方針」策定 ○「東京都環境基本計画」策定
平成 20 年度 (2008 年度)	「敷地面積の最低限度」の都市計画変更の決定* ISO14001 認証返上	●「生物多様性基本法」制定 ●「エネルギーの使用の合理化に関する法律」改正 ●「地球温暖化対策推進法」改正 ●「低炭素社会づくり行動計画」策定 ○「東京都環境確保条例」改正 ○「東京都自然保護条例」改正
平成 21 年度 (2009 年度)	「目黒区景観計画」策定 めぐろエコ・プラン (目黒区地球温暖化対策推進実行計画) 策定	○「東京都地球温暖化対策指針」改正 ○「東京都エネルギー有効利用指針」制定
平成 22 年度 (2010 年度)	「目黒区総合治水対策基本計画」改定  「目黒区環境学習推進計画」改訂	★生物多様性条約第 10 回締結国会議 (COP10) 開催 (「名古屋-クアラルンプール補足議定書」、「愛知タ ーゲット」、「名古屋議定書」策定) ○「首都圏キャップ&トレード制度」協定締結 ○「中小事業者のための土壌汚染対策ガイドライン」 策定
平成 23 年度 (2011 年度)	「目黒区環境基本計画」改定	★京都議定書第 17 回締約国会議 (COP17) 開催
平成 24 年度 (2011 年度)	—	★京都議定書第 18 回締約国会議 (COP18) 開催

※めぐろ住環境プロジェクト…平成 20 年度より実施された、住みやすい環境を整備するための一連の取組み。  
目黒区大規模建築物等の建築に係る住環境の整備に関する条例、目黒区開発許可の基準に関する条例、目黒区斜面地建築物  
の制限に関する条例の制定、目黒区中高層建築物等の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例、目黒区みどりの条例、目  
黒区自転車等放置防止条例の改正等が行われました。

## 環境保全の施策に要した主な経費

### 基本目標1 良好な生活環境を守りはぐくむ

(単位:千円)

事業名	事業の内容	経費
環境調査	大気汚染常時監視、幹線道路の自動車公害調査、目黒川水質調査、光化学スモッグ対策、幹線道路沿いにおける窒素酸化物調査、地下水調査	17,068
総合治水対策の推進	透水性舗装 588m <sup>2</sup> 、雨水浸透柵 3か所	1,091
放射線対策	空間放射線量測定、プール放射性物質測定、NaI(Tl)シンチレーションサーベイメーター校正費、放射能汚染物収納バッグ購入費、雨水槽放射性物質測定	1,106
公園・緑道等の整備	公園 1か所、児童遊園(拡張) 1か所、広場 1か所、整備	762,740
みどりのまちなみ助成	接道部緑化 28件、屋上緑化9件、壁面緑化1件	6,375
目黒区生物多様性地域戦略の策定	基本方針案の検討・調査	1,158
グリーンクラブ事業	85団体に花苗を配布	5,774
ポイ捨て、落書き対策	ポイ捨て禁止キャンペーン、落書き消去活動支援	1,086
路上喫煙対策	路上喫煙禁止区域の維持管理	14,075
違反屋外広告物の指導・取締	撤去枚数 97,567枚(はり紙 97,299枚、はり札 7枚、立看板 261枚)	4,105

### 基本目標2 ライフスタイルの転換で環境を守りはぐくむ

(単位:千円)

事業名	事業の内容	経費
ごみ減量化のための普及啓発	3R推進キャンペーン、広報誌・パンフレットの発行、めぐろ買い物ルール、環境学習等	2,964
ペットボトル等拠点回収事業	回収量(ペットボトル 80t、乾電池 17t、紙パック 7t)	27,134
分別回収の推進事業	回収量(びん 3,034t、缶 873t、ペットボトル 945t、資源プラスチック 1,806t)、普及PR	933,408
古紙回収	古紙回収量 414t	46,011
資源回収活動支援	資源回収活動実施団体支援 254団体 資源回収量 13,509t	67,543
地球温暖化対策事業	普及・啓発事業(住宅用新エネルギー及び省エネルギー機器設置費助成、地域協議会運営、エコドライブ教習会等)	13,407

### 基本目標3 環境を守りはぐくむ人づくり

(単位:千円)

事業名	事業の内容	経費
環境推進員養成講座	環境ナビゲーター養成講座、ステップアップ講座の実施	342
エコプラザ運営管理	リサイクルショップ、シルバーアトリエ、図書貸出等	39,220



より詳しい情報をお知りになりたい方のために...

• 環境調査報告書

基本目標1の基本方針1-1で報告した大気・水質等に関する環境調査結果を詳細に掲載した報告書です。平成25年度版は、11月頃の発行を予定しています。

• 環境保全施策実施状況一覧表

目黒区の環境保全施策実施状況をまとめたものです。

ご意見・ご感想をお聞かせください

平成25年度版めぐろの環境（環境報告書）をお読みいただきありがとうございました。  
今後の環境報告書づくりの参考にしていきたいと思いますので、ご覧になってのご意見・ご感想などをお聞かせください。

〔 宛て先 〕 目黒区 環境清掃部 環境保全課 環境計画係

電 話：03-5722-9356

FAX：03-5722-9401

Email：kankyo01@city.meguro.tokyo.jp

平成25年度版 めぐろの環境（環境報告書）

主要印刷物番号
---------

25-7号
-------

発行日 平成25年9月発行

発行者 目黒区

編集部署 目黒区環境清掃部環境保全課

東京都目黒区上目黒2丁目19番15号

電話 03-5722-9356（直通）

編集協力 アオイ環境株式会社

チャレンジ  
未来が変わる。  
日本が変える。 25

